

	第1問	第2問	第3問	第4問
R2	<p>(設問1) 財務諸表を用いて比率分析</p> <p>(設問2) 当期の財政状態および経営成績について、同業他社と比較した場合の特徴を、述べる。</p>	<p>(設問1) 損益分岐点売上高の計算</p> <p>(設問2) 正味現在価値の計算と、最適な意思決定</p>	<p>(設問1) 買収が成立した場合の、買収先の純資産額と買収価格の差異に関して、行うべき会計処理を、説明する。</p> <p>(設問2) 買収のリスクについて、買収前に中小企業診断士として相談を受けた場合、どのような助言をするか、述べる。</p>	<p>(設問1) ROIの計算</p> <p>(設問2) ソフトウェアを導入した場合の、次期におけるROIの計算。</p> <p>(設問3) 現在の業績評価の方法における問題点と、その改善案を、述べる。</p>
R1	<p>(設問1) 連結財務諸表を用いて比率分析</p> <p>(設問2) 当期の財政状態および経営成績について、前期と比較した場合の特徴を、述べる。</p>	<p>(設問1) 事業部および全社(連結ベース)レベルの、変動費率の計算</p> <p>(設問2) 経常利益段階の損益分岐点売上高を計算。</p> <p>損益分岐点分析の結果を、利益計画の資料として使うことにある重大な問題を、説明する。</p> <p>(設問3) 建材事業部の変動費率が何%であれば、目標利益が達成できるかを計算</p>	<p>(設問1) 各期のキャッシュフローを計算</p> <p>(設問2) 回収期間と正味現在価値を計算</p> <p>(設問3) 高性能な機械設備の導入により原材料費および労務費が削減されることによって新製品の収益性を向上させることができるとき、原材料費と労務費の合計が何%削減される場合に、有利になるかを計算。</p>	<p>(設問1) 配送業務を分離し連結子会社としている、メリットとデメリットを、それぞれ説明。</p> <p>(設問2) EDIの導入で期待できる財務的効果を、説明。</p>
H30	<p>(設問1) 財務諸表を用いて経営分析</p> <p>(設問2) 財政状態および経営成績について、同業他社と比較した場合の特徴を、述べる。</p>	<p>(設問1) 今年度の財務諸表をもとに、加重平均資本コスト(WACC)と、吸収合併により増加した資産に対して要求されるキャッシュフロー、を求めめる。</p> <p>(設問2) 吸収合併により増加したキャッシュフローを求めめる。また、吸収合併によるインテリアのトータルサポート事業のサービス拡充が企業価値の向上につながったかについて、(設問1)で求めた値も用いて理由を示して、述べる。</p> <p>(設問3) (設問2)で求めたキャッシュフローが、将来にわたって一定率で成長する場合、キャッシュフローの現在価値合計が吸収合併により増加した資産の金額に一致するのは、キャッシュフローが毎年度何パーセント成長するときかを計算する。</p>	<p>(設問1) 来年度は外注費、売上高および、固定費が増加すると予測され、その他の事項に関しては、今年度と同様である場合、予測される変動費率と営業利益を求めめる。</p> <p>(設問2) 新たに営業拠点を開設する際の、固定資産への投資規模と費用構造の特徴について、説明する。</p> <p>(設問3) (設問2)の特徴を有する営業拠点の開設が成長性に及ぼす当面の影響、および営業拠点のさらなる開設と成長性の将来的な見通しについて、説明する。</p>	<p>受注したサポート業務にあたる際に、業務委託を行うことについて、同社の事業展開や業績に悪影響を及ぼす可能性がある場合と、それを防ぐ方策について、説明する。</p>
H29	<p>(設問1) 財務諸表を用いて経営分析</p> <p>(設問2) 財政状態および経営成績について、同業他社と比較した場合の特徴を、述べる。</p>	<p>(設問1) 所与の来年度の予測資料にもとづいて、染色関連事業の予測損益計算書を完成させる。</p> <p>(設問2) 発電事業における予想営業利益を計算。</p> <p>(設問3) 再来年度以降の発電事業における年間予想営業利益を計算。また、損失に陥る売電単価を設問2の予測資料にもとづいて計算。</p>	<p>(設問1) 所与の設備更新案にもとづいて、第X1年度末の差額キャッシュフロー(キャッシュフローの改善額)を計算した上で、各年度の差額キャッシュフローを示す。</p> <p>(設問2) この案の採否を検討する際に考慮すべき代表的な指標を安全性と収益性の観点から1つずつ計算し、収益性の観点から採否を決定する。</p>	<p>(設問1) 親会社単体の事業活動における、当年度の損益状況を、説明。</p> <p>(設問2) 関連会社を子会社にすることによる、連結財務諸表の財務指標に対する主要な影響を、説明。</p> <p>(設問3) 関連会社を子会社化することによって、経営上、どのような影響があるかを、財務指標への影響以外で、重要であると考えることについて、説明。</p>
H28	<p>(設問1) 財務諸表を用いて経営分析</p> <p>(設問2) 設問1で取り上げた課題が生じた原因を、述べる。</p>	<p>(設問1) 前期と当期の財務諸表を用い、当期の営業活動によるキャッシュフローに関する表を、完成させる。</p> <p>(設問2) (1)土地および建物・器具備品について、投資額、6年後の売却価値およびそれぞれの当初投資時点における現在価値はいくらを、求めめる。</p> <p>(2)新しい本社社屋を建設するための投資の意思決定に際し、新設される2店舗が営業を開始した後の税引後キャッシュフローの増加分はいくら以上と見込まれているか、を求めめる。</p>	<p>見積損益計算書をもとに、閉店すべきかどうかについて、意思決定の基準となる尺度の値と、結論を理由とともに、述べる。</p>	<p>(設問1) 業者が運営するネット予約システムを利用することにより、同システムを利用しない場合と比較し、収益や費用はどのような影響を受けているか、を述べる。</p> <p>(設問2) (1)自社のネット予約システム導入前の損益分岐点売上高を、求めめる。 (2)自社のネット予約システム導入による損益分岐点売上高の変動額を、求めめる。 (3)導入前の固定費をもとにした、自社のネット予約システム導入にともなう変動費率の変動による損益分岐点売上高の変動額、を求めめる。</p>